

令和4年度の新たな取り組み



シッティングバレーボールの推進(スポーツ課)

シッティングバレーボールの備品を子持社会体育館に設置し、シッティングバレーボールの普及促進を図ります(写真①)。

災害時ヘルプバンドナ普及促進(地域包括ケア課)

外見からは支援が必要であることが分かりにくい人が、災害時などに周囲に支援や配慮が必要であることを伝えられる「災害時ヘルプバンドナ」を配布します(写真②)。

LGBTリーフレットの配布(政策創造課)

中学生にLGBT啓発リーフレットを配布し、多様な性の理解を深めます。

食品ロス削減推進事業(環境森林課)

家庭や職場などで余った食品を募るフードドライブにより、食べ物を必要とする方々へ寄付します。

共生社会推進月間における主な取り組み

事業名	内容	開催日	所管課
「共生社会推進月間」懸垂幕の掲示	市役所本庁舎および駅前プラザに懸垂幕を掲示します	10月1日～31日(月)	政策創造課
共生社会シンボルマークピンバッジ着用	共生社会実現に向け、職員全体が共通意識を持つためピンバッジを着用します	推進月間を含む通年	
バリアフリーマップ調査	令和3年度に作製したバリアフリーマップの改訂に向け、現地調査を行います	10月	
心のバリアフリー啓発パンフレットの配布	市内小学4年生および中学3年生に啓発パンフレットを配布し、授業などで活用することで心のバリアフリーを推進します	10月	
DEET研修(障害平等研修)	伊香保中学校、市職員(課長級および新採用)を対象に、社会にある障害を見抜く力を獲得し、それらを解決するための行動につなげる研修を行います	10月27日(木) 10月31日(月)	
オンライン版「あすチャレ! ジュニアアカデミー」	長尾小学校、豊秋小学校において、共生社会実現のために一人一人何ができるか、パラアスリートとのリアルタイムな対話を交えながら理解を深める研修を行います	10月5日(水) 10月20日(木)	地域包括ケア課
みんなの福祉事業所展	市内の福祉事業所の活動内容パネル展示と自主生産品の展示などを行います	10月19日(水)～21日(金)	
出前手話講座	市内小中学校で出前手話教室を開催し、手話の理解および普及を図ります	推進月間を含む通年	
手話教室	一般市民、観光従事者、医療機関従事者向けの手話教室を開催し、手話の理解および普及を図ります		
手話学習動画配信	昨年度作成した手話学習教材の動画を、市公式YouTubeチャンネルで配信します		こども課
手話あそび体験事業	保育所、認定こども園および幼稚園において、園児が遊びながら視覚的な表現によるコミュニケーションに触れ、お互いを尊重し支え合う大切さを知るきっかけとなるよう、手話通訳士および聴覚に障害のある人を派遣し、園児に対する手話体験を実施します	推進月間を含む通年	
アイマスク・点字体験	アイマスクを付けて歩行する体験、点字を打つ体験を通して、視覚障害への理解を深めます	推進月間を含めて各校の教育課程において実施	学校教育課
車椅子体験	車椅子に乗ったり押ししたりする体験を通して、肢体障害や介護への理解を深めます		
高齢者体験	視野が狭くなるゴーグルや重りを付けて行動する体験を通して、高齢者の生活上の困難さや介護の重要性についての理解を深めます		
手話教室	講師を招いて手話を学ぶことで、聴覚障害への理解を深めます		
人権教育講演会	さまざまな人権問題の現状と問題を理解し、その解決を図るため、講演会を行います	10月12日(水)	生涯学習課
来館困難者の自宅へ市立図書館所蔵資料を配送	市内在住の障害のある人や妊婦など、一人での来館が困難な人を対象に、市立図書館所蔵資料を職員が無料で配送します	推進月間を含む通年	市立図書館

共生社会実現のまち 渋川市



市は、全ての人が社会の一員として共生社会を築きあげる役割を担い、「自分らしく」、「互いに寄り添い」、「共に生きる」、「共生社会実現のまち」を目指すための取り組みを加速させています。

共生社会ホストタウンに登録された10月を「共生社会推進月間」とし、共生社会実現に向けた取り組みを集中的に実施します。

詳しくは、政策創造課(☎21880)へ。

共生社会推進シンボルマーク



共生社会実現のまち 渋川市

市の花アジサイをモチーフに、青やピンク、緑などの色が集まる様子を、多様な人が集まって暮らすイメージに重ねています。

「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言

共生社会実現に向け、市と協力して取り組みを行う団体と共同宣言を行い、取り組みの輪を広げています。令和4年8月末までに、80団体から賛同いただき、共同宣言に署名を行いました。

共生社会実現に向け、共同宣言団体が行っている取り組みについて紹介します。皆さまの優しい気持ちが生かされ、本市の共生社会の推進につながります。

その他の団体の取り組みについては、市ホームページ(ページID=8073)を確認してください。

群馬パース大学福祉専門学校

- ▷オストメイト(人工肛門、人工膀胱を造設した人)も使いやすい多機能トイレを設置しています(写真①)
- ▷学校の周りでアイマスクを着用した視覚障害者体験を行っています(写真②)
- ▷多文化共生やピクトグラムなどのユニバーサルデザインについて学んでいます



赤城自然園

- ▷思いやり駐車場を拡充しました(写真③)
- ▷歩行困難なお客様や高齢のお客様のために車椅子の貸し出しやカートでのご案内(園内の一部)を行っています(写真④)
- ▷渋川特別支援学校の生徒が製作した作品を販売しています



渋川市内郵便局(伊香保・鯉沢・子持・渋川金井)

- ▷目が不自由な人のための誘導音機器を設置しています(伊香保)
- ▷窓口でお客様の行動や言動に注視し、何かあれば支援センターに連絡がとれる体制を整えています(鯉沢)
- ▷外国人のための翻訳機能付き端末を設置しています(子持)
- ▷局員全員が認知症サポーターとなり、認知症についての理解を深め、丁寧に分かりやすい説明をするよう心がけています(渋川金井・写真⑤)

